

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	武雄市立東川登小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関しては、職員一人一人が児童の実態に即してマイプランを立て、目標達成のために努力することができた。国語科において、子ども同士が考えを交流したりつないでいったりする場面を設定した授業づくりに取り組めた。しかし児童のアンケートの結果を見ると目標から5ポイントほど低かった。次年度は、どの授業においても話し合う活動と振り返りの活動を取り入れ、児童の授業評価をもとに授業力向上を目指す。 ・心の教育に関しては、生活アンケートの活用等いじめの未然防止・早期対応を心がけることができた。また、学区には歴史的価値のあるものや地域人材など教育資源が多いので、次年度は特に高学年で「ふるさとを誇りに思う教育活動」の充実を図っていく。 ・今年度の途中でタブレットが更新されたため、協働学習などできることも増えた。今後はさらに教育の質の向上を目指してICT機器活用の充実を図っていく。
2 学校教育目標	生き抜く力の育成「やさしく かしく たくましく」 ～自ら進んで学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成～ 【めざす子ども像】○人の気持ちに寄り添うことができる子ども ○「ひと もの こと」にかかわって学び、進んで学習する子ども ○望ましい生活習慣を身に付け、元気な心と体でがんばる子ども
3 本年度の重点目標	① 日々の授業において話し合う活動と振り返りの活動を取り入れるとともに、ICTの効果的な活用を探り、児童の授業評価をもとにした授業改善を図る。 ② ふるさとを誇りに思う教育活動の充実

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、ふり返りを年3回行い校内研究等により取組の促進を図る。						
	○話し合う活動と振り返りの活動を取り入れ、児童の授業評価をもとにした授業改善	○「自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と回答した児童80%以上 ○「学習内容を振り返る活動がよく行われている」と回答した児童80%以上。	・「自分の考えを広げる」「まとめる」「もっと良い方法を選ぶ」などの話し合いの目的を明確にした話し合う活動を設定する。 ・児童による授業評価を年に3回行う。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「相手の気持ちを考えることができる」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童90%以上。	・児童会を中心としたアルミ缶回収ボランティア活動をより主体性をもたせた取組として改善・充実を図る。 ・地域GT、保護者参加型のふれあい道徳の実践(教育フェスタ等)						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校は楽しい。」と回答した児童95%以上。	・生活アンケートや教育相談週間の活用。 ・いじめ防止基本方針を周知徹底し、迅速かつ組織的対応の徹底を図る。						
	◎ふるさとを誇りに思う教育活動	○東川登町の自慢を答えることができた児童90%以上。	・生活科・総合的な学習の時間・国語科等と関連させた地域の特色を生かした学習の充実を図る。						
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●健康に食事は大切であると考えている児童95%以上。	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施し、日々の給食指導に役立てる。 ・給食週間の取組を充実させる。 ・定期的に保健だよりを発行する。						
	○「スポーツチャレンジ」への取組を通じた体づくり	○各学年2種目以上にエントリーし、達成賞を目指す。	・「縦割りで挑戦8の字とび」にエントリーし、年間を通じた取り組みとする。 ・各学年で年間を通して切れ目のない継続的な取組とする。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・月1回それぞれの職員に自分の勤務状況を示し、勤務時間の削減を図る。 ・選択制定時退勤を確実に実施する。 ・「働き方改革」のための議論の場を年間2回以上設定する。(改善アンケート7月1日、研修会8月実施)						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○ICT利活用教育	○教育の質の向上に向けたICT利活用教育の充実	○電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすいと回答した児童90%以上。	・参観授業等で年2回以上タブレット端末を活用した授業を行う。 ・国語の授業研とタイアップした研修会を年間2回以上行う。						
○官民一体型教育	○地域学校協働本部を活用した教育の充実	○地域の方とする学習は自分のためになっていると回答した児童90%以上。	・地域学校協働本部事業計画に基づいた教育活動を意図的・組織的に学習に取り入れて実施する。						

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------